

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年1月11日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670300872号
法人名	社会福祉法人 鹿屋恵友会
事業所名	グループホーム花岡の里
所在地	鹿児島県鹿屋市花岡町3988 (電話) 0994-31-8937
自己評価作成日	平成24年1月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ベランダから錦港湾が望め、景色がすばらしく、自然に囲まれている。広いホールに畳敷きのスペースがあり、居室は家庭的で仏壇や鏡台が置け、居心地の良い住まいになっている。行事や買物など外出の機会をできるだけ多くもうけている。病院受診は毎月スタッフが付き添い、状態変化に応じて受診を行い、健康管理に努めている。歯科往診(毎週木曜日)、皮膚科往診利用できる。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年1月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは鹿屋市の郊外に位置し、天気の良い日は、開聞岳を見ることができ、錦江湾を望むロケーションに建てられている。ホーム周辺は自然に恵まれており、四季を感じながらの散歩に、最適の環境である。そして、市街地から少し離れているために日常的な地域交流は困難ではあるが、町内会に加入することで敬老会の食事会に出かけたり、併設の施設で行われる町内会のグランドゴルフ大会に参加し、ホームや利用者が孤立することのないよう積極的な地域交流に取り組んでいる。利用者がホームに閉じこもらないように外出支援にも力を入れており、個別の外出や日常の散歩や買い物、外出レクレーションとして毎月外食に行ったり、季節の花見やくだもの狩り、観劇会や足湯、ときには水族館やロケット基地まで遠出することもあり、利用者の楽しみになっている。また、趣味や特技を活かした役割分担や、今までの生活スタイルの継続などを図り、その人らしい暮らしが出来るよう支援している。重度化や終末期における支援についても、家族に分かりやすく説明できるように重要事項説明書に明文化しており、同意を得て方針を共有している。開設して8年目になるが、更なる質の向上に向けた管理者、職員の意欲も伺われる。利用者の表情も明るく、元気で活気があるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域との関わりを含めた理念を加えた。 毎朝ミーティングで理念を唱和している。	昨年、職員全員で話し合い、地域密着型サービスとしての意義を踏まえた理念の見直しを行った。職員は朝の申し送り時に理念を確認し、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。理念は玄関やホールに掲示し、重要事項説明書やパンフレット、ホーム便りにも明記している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入している。 近所のスーパーへ買出しに出かけている。 時々、近隣の農作物等のおすそ分けがある。	立地的に近隣との交流が難しい環境にあるが、町内会に加入するなどして利用者が孤立することがないように交流作りに努めている。また、利用者も町内会の食事会に出かけたり、隣接する法人の施設で行われる地域のグラウンドゴルフ大会に参加することで地域の方々との交流の機会を作っている。大学生や地域ボランティアの受け入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症ケアの勉強会の開催や、随時介護相談を行なっている。 地域にある体育大実習生の受入をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の新たなメンバーを加え、幅広く意見をもらえるようにしている。	町内会長、民生委員、老人会長、消防分団長、公民館長、駐在所、家族、行政などの参加を得て2ヵ月に1回開催している。家族にはできるだけ参加してもらえるように積極的に参加を促している。状況報告、行事活動、ヒヤリハット報告、ホームの困難事例などの話し合いを行っており、そこで多方面からの意見やアドバイスをもらい、安全対策やサービス向上に活かしている。	

鹿児島県 グループホーム花岡の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	電話やメール、直接出向いたりして、様々な情報交換や相談などができる関係が築けている。	生活保護受給者・成年後見制度利用者もいることから、日頃から連携を図り、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月の身体拘束廃止委員会で確認しあっている。 外部研修の参加や、内部研修を開催している。 施錠や拘束は行っていない。	毎月身体拘束廃止委員会が持たれ、そこで勉強会も兼ねて話し合いを行っている。日中は施錠などせずに安全で自由な暮らしを支援している。特に外出傾向のある利用者には買い物同行などで対応したり、職員がさりげなく着いて行き散歩をするなどして行動の抑制をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の虐待防止委員会で確認しあっている。 外部研修の参加や、内部研修を開催している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部研修で、勉強会を開催予定である。		

鹿児島県 グループホーム花岡の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結については、文面を通して説明している。解約については、十分な説明と話し合いの段階の期間をもうけている。理解・納得が得られるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や電話・手紙などで、意見や要望を随時伺っている。	相談苦情解決の窓口は、重要事項説明書に明記し、第三者委員も設置している。日常の面会や電話連絡時、また、家族がたくさん集まる敬老会時には管理者や職員から話かけ、意見、要望を聞き出すようにしている。出された意見や要望については職員全員で話し合って運営に反映させている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。	今後は更に家族と信頼関係を築き、意見・要望を表しやすいような体制作りや工夫に期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝のミーティング時や月1回のスタッフ会議時、または個別に相談に応じている。	毎朝のミーティングで情報の共有をおこなっている。また、毎月行われている全員参加のスタッフ会議にて、意見交換や話し合いが行われている。職員からの意見・提案は可能な限り運営に反映できるように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の健康診断や、健康に関する情報提供をして、スタッフの健康管理を行なっている。スタッフの休み希望や急な休み変更に応じ、働きやすい職場環境づくりをしている。年2回親睦会を行っている。		

鹿児島県 グループホーム花岡の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スタッフが交代で外部研修に参加し、月1回の会議で発表の場を設け、全員で情報を共有している。</p> <p>毎月内部研修を開催している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大隅地区グループホーム協議会の研修に積極的に参加するようにしている。</p> <p>訪問や電話などで意見交換できる同業者がいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の情報収集・把握を行い、直接接する中で、本人の思いや不安を受け止められる関係性を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学や面談の際、家族の話をよくきき、相談や要望に応じている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学や面談の際に見極めたり、担当ケアマネージャーと連携を図り、情報収集して見極めたりしている。 利用対象外の場合、他のサービス機関を紹介している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除・洗濯・ゴミ集めなど、できることの役割を担ってもらい、一緒にしている。 会話の中で励ましたり、励まされたりしている。		

鹿児島県 グループホーム花岡の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に本人の様子を話したり、直接電話で本人と家族で話してもらったり、家族宛に本人直筆で手紙を書いてもらったりしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	法人内の事業所へ出かけ、家族や友人と会っている利用者がいる。	地元出身の利用者もおおり、町内会行事に参加している。また、本人の希望による盆の墓参りや自宅周辺へのドライブ、なじみの店での買い物や図書館などへも出かけている。友人知人の訪問があり、逆に利用者から会いに行くこともある、なじみの人や場との関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の工夫やトラブル時の仲裁、レクや行事、日常の場面でも誘導したりして、利用者同士の関係がうまくいくようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所へ移行される時は、情報提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で声をかけ、把握に努めている。本人の日々の言動、行動から汲み取っている。	会話の中から思いや意向を把握し、本人本位に検討している。困難な場合は表情、言動、家族からの情報などから把握するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や友人の面会時に情報を得ながら、積み上げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で、観察や記録を通して把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族とかかわりながら思いを聞き、毎月1回スタッフ全員で話し合い、意見を出し合っでプランに反映させている。	本人や家族の思い、希望や職員の意見などを反映した本人本位の介護計画を作成している。また、個別支援や入居前からの生活スタイルの継続や、生活に張りが出るように趣味や特技などを活かせるサービスも取り入れ、個別性のある介護計画を作成している。毎月、介助データ表の項目を職員全員で評価、見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	

鹿児島県 グループホーム花岡の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録や申し送りで情報を共有して、実践につなげている。 毎月1回の会議で、実践の見直しを図っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状態や家族の意向に配慮し、個々に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くのスーパーへ買物 病院受診 月1回外食		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人のかかりつけ医に受診し、スタッフが付添い、必要に応じ家族も同行してもらう。 病院変更時は家族と話し合いをして変更する。 皮膚科の訪問診療、歯科往診を受けている。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。ほとんどの利用者の受診介助を行っており、かかりつけ医と事業所の信頼関係を築いている。また、協力医療機関とは緊急時の連携が図られている。	

鹿児島県 グループホーム花岡の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>受診時は皆で話し合っ、Drへ伝えるべきポイントを確認している。 状態変化があれば家族へ連絡している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院前は情報提供を行なっている。 入院後、家族・Dr・ソーシャルワーカーとカンファレンスを行ない、情報の共有、連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期のケアは行なっておらず、入居前の事前説明で、理解・納得が得られるようにしている。</p>	<p>重要事項説明書に「退去の基準」として重度化や終末期に向けたホームの方針を明記しており、入居時に説明している。また、身体状況によっては、主治医の指示のもとに再度話し合いをしながらホームで出来る最大限の支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急事対応はマニュアル化されている。 AEDを設置している。 外部研修の参加、内部研修の開催、普通救命講習の受講を推進している。</p>		

鹿児島県 グループホーム花岡の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し、年2回避難訓練を行なっている。地域の協力体制を呼びかけている。防災設備の定期点検、非常食を備蓄している。</p>	<p>ホームの立地状況から近隣との協力体制は困難であるが、運営推進会議には消防団長の参加もあることから、そこで災害時の話し合いが行なわれている。スプリンクラーも設置されており、併設の施設に夜警も待機している。AED、救命救急の講習は全職員が受講している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに関わるケアを行なう際は、十分な配慮を行なうように、スタッフ全員で話し合って対応している。	スタッフ会議や定期的な研修で職員の意識付けを行っている。特に声かけには配慮して、人格を尊重した対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	寝る、食べる、起きるなどの生活リズムは、本人の希望に合わせている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れに沿って1人ひとりに応じたペースで過ごしてもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日の身だしなみに支援を行なっている。 定期的な白髪染めを行なっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お茶の葉詰めや、簡単な調理、片付けなど手伝ってもらっている。静かな音楽（BGM）を流し、利用者とスタッフが、会話を交え楽しみながら食事が出来るようにしている。	家庭菜園でできた野菜の収穫を楽しんだり、団子作りや落花生豆腐の作り方などを利用者に教わりながら行っている。また、出張ラーメンを頼んだり、外食（回転すし・ファミリーレストラン・そば屋など）に毎月出かけており、利用者の楽しみにつながっている。	

鹿児島県 グループホーム花岡の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・カロリー制限、好き嫌い、とろみ食など必要な方には個別に対応している。 食器の工夫（取っ手付おわん、深くてすくいやすい茶碗、左利き用スプーン）をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1人ひとりの力に応じた歯磨き支援を行なっている。 歯科往診の際、Drから助言を得ている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人に合わせて、紙パンツやパット類を使用している。 排泄チェック表で排泄リズムを把握している。 周囲への配慮は、スタッフ同士で話し合って共有している。	職員の声かけ誘導でトイレでの排せつを支援している。また、自立している利用者も多く、継続できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日頃から便秘の弊害や原因を皆で話し合っている。 乳製品をおやつに取り入れている。 水分補給と室内ウォーキングで身体を動かす事している。 薬は状態に応じ調整している。		

鹿児島県 グループホーム花岡の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調に合わせて、好みの湯温にしてゆっくり入ってもらっている。 無理強いをしない。	希望があれば毎日の入浴も可能で個々に応じた入浴の支援を行っている。入浴を嫌がる利用者にはタイミングや声かけを工夫して対応し、無理のないように入浴してもらっている。足湯に出かけたり、冬至の季節にはゆず湯を楽しむこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠できるようにリネン、衣服、空調の調整を行い、安心できる声かけで眠れるように支援している。 本人のリズムに合わせて、休息を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	D r と連携を密にしている。薬の説明書、受診時の記録を整備し情報の共有を図っている。 全スタッフが記録や申し送り状態で状態変化を把握できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人ひとりの力量に応じた役割がある。(新聞とり、掃除機・モップかけ、カセットテープの準備、台拭き) コーヒータイムがある。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外食、ドライブを行事で行ったり、個別に外出を行なっている。 家族と外出・外泊できるように支援している。	日常的には散歩、買い物、ドライブなどに出かけている。また、月1回の外食や季節の花見、くだもの狩り、足湯、観劇、水族館、ロケット基地など遠出をすることもある。本人の希望による個別支援で受診後の外食や施設への面会、お墓参り、買い物などへも出かけられるように支援している。	

鹿児島県 グループホーム花岡の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持つ事の大切さをスタッフ同士で話し合っている。本人の状態に応じて、お金を所持してもらったり、使えるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望時や家族からの電話の際は出来るようにしている。年賀状や手紙を出せるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ソファ、畳のスペースがあり、思い思いに過ごしてもらっている。ホール内の飾りつけや展示は季節感にあったものになっている。台所から食事の臭いやまな板で刻む音で五感を刺激している。</p>	<p>共用空間は広く落ち着いた雰囲気がある。テーブルやテレビの前のソファ、畳部分など利用者が思い思いに過ごせるように工夫されている。2階のベランダからの眺望はホームにいながらも四季を感じることができる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール内に一人で座れる椅子を追いて、ゆっくりと過ごせる場所がある。玄関先に椅子を置いている。</p>		

鹿児島県 グループホーム花岡の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が落ち着くように、本人家族と話をしながら、家具を持ち込んでもらっている。</p>	<p>テレビ、カセットデッキ、仏壇、位牌、タンス、読書好きな利用者の居室にはイスとテーブルが持ち込まれ、居心地良く過ごせるように工夫されている。季節に応じて加湿器や湯たんぽ、寝具なども持ち込まれている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホールの壁際に手すりの設置をしている。トイレ表示あり。居室入口に本人の写真を掲げている。本人用の目印カバーを椅子にかけている。スタッフ同士で話し合い、状況に応じて対応している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない